

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

6年は、「工業生産」の単元がよくできた。様々な資料（教科書・映像資料等）を読み取り、分かることをまとめたり、変化の原因や理由を推測したりする学習の積み重ねが力になっている。

5年生は、「くらしをささえる水」がよくできていた。児童にとって身近な内容は、正答率が高い傾向だった。自分たちの生活と社会科の学習が結び付きやすく、体験や経験を通して答えを導くことができていた。

4年生は、「店や工場働く人の工夫」がよくできていた。普段の授業で、働く人の努力や工夫を考えたり、話し合ったりして、学習内容を自分の言葉でまとめる学習が結果につながった。

(2) 課題

- ・日本地図や世界地図、絵地図など地図全般にまだまだ慣れていない。地図の見方についてはICT機器を活用したり、実生活と結び付けて活用したりするなど、活用方法を工夫・改善する必要がある。
- ・安全なくらし（火事・事件・事故）などは、身近な出来事でないため、社会科見学などで体験や学習する機会があるとよい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	達成率-11.4	/	/
第5学年	達成率-5	達成率-0.5 (第4学年時)	/
第6学年	達成率-8.9	達成率+1.2 (第5学年時)	達成率-4.6 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 4年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より低い正答率である。安全なくらしなどの知識の理解では不十分な点が見られた。	・目標値より低い正答率である。資料を読み取って判断したり、表現したりする力が低い。	・目標値よりやや低い正答率である。記述式の問題の無答の割合が高い。

② 5年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より低い正答率である。都道府県の様子や地形の知	・目標値より低い正答率である。資料を読み取って記述す	・目標値と同程度である。 ・記述式の問題において、無

識の理解では不十分なところが見られた。	ることに不十分な点が見られた。	答の割合が低い。
---------------------	-----------------	----------

② 6年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値よりやや低い正答率である。 ・世界の国土や地形、情報についての知識に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値より低い正答率である。 ・資料を読み取り、課題や解決策を記述することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値よりやや低い正答率である。 ・記述式の問題において、無答の割合が低い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・社会科見学などで普段体験することができないことを学習する機会を用意する。 ・写真や動画の映像を用いて、疑似的に体験活動を行って理解を深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の資料から必要な情報を収集したり、選択したりする学習経験を積ませる。 ・資料から考えたことや読み取ったことをノートに記述したり、学習内容を自分の言葉でまとめたりする学習を多くする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象について、予想を立てたり、学習を振り返って見直したりして、学習問題を追及、解決する経験を積ませる。またその中で、よりよい社会を考え、学習したことをどう社会生活に生かすかを考える機会を増やす。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学習して得た知識を確実に定着させるために、授業や単元の終わりに、用語やキーワードを使って文章でまとめさせる。 ・基礎的知識を活用できるようにする。 ・普段の学習から積極的に地図を使い、日本の国土や世界とのつながりを意識させたり、年表を読み取ったりする活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識として得た社会科用語を使って、学習して分かったことを文章で表現したり、説明したりする活動を多く取り入れる。 ・資料から分かることを話し合ったり、変化の原因や理由、推測できることなどを考えたりして、ノート等に自分の考えを整理していく学習を多くする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料に慣れるために、日常的に資料を読み取る活動を多く取り入れる。資料の良さや必要性を実感させ、主体的に活動できるようにする。 ・社会的事象について問いを立てる活動を多く行い、より主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を育てる。